

歴史的な米朝首脳会談を 心から歓迎する

共産党・志位委員長が談話



日本共産党の志位和夫委員長は6月12日、次の談話を発表しました。同日、米朝両国と韓国、中国、ロシア、モンゴルの各国に送付しました。

一、米国のドナルド・トランプ大統領と北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)の金正恩(キム・ジョンウン)国務委員長が、本日、シンガポールで米朝首脳会談を行った。

両首脳が署名した共同声明によると、金委員長は「朝鮮半島の完全な非核化への強固で揺るぎない決意」を表明し、トランプ大統領は「北朝鮮に対する安全の保証の提供」を約束し、米朝両国が「平和と繁栄を望む両国民の願いに従って新しい米朝関係を樹立し、「朝鮮半島に永続的で安定した平和体制を構築」することを宣言した。

日本共産党は、長年にわたって厳しく敵対してきた米国と北朝鮮が、初の首脳会談を行い、朝鮮半島の非核化と平和体制構築をすすめ、両国関係を敵対から友好へと転換させるために努力することで合意したことに対して、心からの歓迎を表明する。

一、今回の米朝首脳会談は、非核化と平和体制構築に向けたプロセスの開始である。この目標の達成には、両首脳が確認したように、今後も首脳会談を含め交渉を継続し、共同声明の合意を速やかに具体化し、誠実に履行するための真剣で持続的な努力が必要である。そのことを米朝両国に強く期待する。

一、非核化と平和体制構築を実現するためには、米朝両国の努力とともに、関係各国、国際社会の協調したとり組みが必要である。平和を求め、核兵器のない世界を求める諸国民の世論と運動が不可欠である。

とりわけ、日本政府が、日朝平壤宣言にもとづき、核・ミサイル、拉致、過去の清算など両国間の諸懸案を包括的に解決し、国交正常化のための努力をはかり、開始された平和のプロセスを促進する役割を果たすことを強く求める。拉致問題の解決も、そうした努力のなかに位置づけてこそ道が開けることを強調したい。

一、日本共産党は、北朝鮮問題の「対話による平和的解決」を一貫して主張し、4月上旬には、「朝鮮半島の非核化と北東アジア地域の平和体制構築を一体的・段階的に進める」ことを関係国に要請した。この間の情勢の進展は、わが党の提唱が、関係各国の努力方向とも合致し、情勢を前向きに打開する唯一の道であることを示している。

南北首脳会談と米朝首脳会談によって開始された平和のプロセスが成功をおさめるならば、世界史の一大転換点となり、地域の情勢を一変させるものとなるだろう。日本共産党はそのために引き続きあらゆる努力を続けるものである。

北朝鮮問題の平和的解決へ全力!!

米朝首脳会談で、北朝鮮が非核化を表明し、朝鮮半島での平和体制の構築を宣言したことは、大変重要です。これからのプロセスがいよいよ大事です。いまこそ日本政府は拉致問題も含め、対話解決の道に転換すべきです。ぜひ、声をあげましょう。



参議院議員(東京選挙区選出)

きらよしこ

吉良よし子

日本共産党



ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年6月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介いたします。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

歴史的な米朝首脳会談を 心から歓迎する

共産党・志位委員長が談話



日本共産党の志位和夫委員長は6月12日、次の談話を発表しました。同日、米朝両国と韓国、中国、ロシア、モンゴルの各国に送付しました。

一、米国のドナルド・トランプ大統領と北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)の金正恩(キム・ジョンウン)国務委員長が、本日、シンガポールで米朝首脳会談を行った。

両首脳が署名した共同声明によると、金委員長は「朝鮮半島の完全な非核化への強固で揺るぎない決意」を表明し、トランプ大統領は「北朝鮮に対する安全の保証の提供」を約束し、米朝両国が「平和と繁栄を望む両国民の願いに従って新しい米朝関係を樹立し、「朝鮮半島に永続的で安定した平和体制を構築」することを宣言した。

日本共産党は、長年にわたって厳しく敵対してきた米国と北朝鮮が、初の首脳会談を行い、朝鮮半島の非核化と平和体制構築をすすめ、両国関係を敵対から友好へと転換させるために努力することで合意したことに対して、心からの歓迎を表明する。

一、今回の米朝首脳会談は、非核化と平和体制構築に向けたプロセスの開始である。この目標の達成には、両首脳が確認したように、今後も首脳会談を含め交渉を継続し、共同声明の合意を速やかに具体化し、誠実に履行するための真剣で持続的な努力が必要である。そのことを米朝両国に強く期待する。

一、非核化と平和体制構築を実現するためには、米朝両国の努力とともに、関係各国、国際社会の協調したとり組みが必要である。平和を求め、核兵器のない世界を求める諸国民の世論と運動が不可欠である。

とりわけ、日本政府が、日朝平壤宣言にもとづき、核・ミサイル、拉致、過去の清算など両国間の諸懸案を包括的に解決し、国交正常化のための努力をはかり、開始された平和のプロセスを促進する役割を果たすことを強く求める。拉致問題の解決も、そうした努力のなかに位置づけてこそ道が開けることを強調したい。

一、日本共産党は、北朝鮮問題の「対話による平和的解決」を一貫して主張し、4月上旬には、「朝鮮半島の非核化と北東アジア地域の平和体制構築を一体的・段階的に進める」ことを関係国に要請した。この間の情勢の進展は、わが党の提唱が、関係各国の努力方向とも合致し、情勢を前向きに打開する唯一の道であることを示している。

南北首脳会談と米朝首脳会談によって開始された平和のプロセスが成功をおさめるならば、世界史の一大転換点となり、地域の情勢を一変させるものとなるだろう。日本共産党はそのために引き続きあらゆる努力を続けるものである。

北朝鮮問題の平和的解決へ全力!!

参議院議員(東京選挙区選出)

きらよしこ

吉良よし子



東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年6月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党